

めざす子ども像

## **地域とのかかわりを大切にする子・自分を大切にする子・なかまを大切にする子・学習を大切にする子**

取組目標

**地域と学校園、保護者との連携を深め、地域と学校園が連携し協働した取組を充実させるとともに、ボランティアスタッフとして地域人材を積極的に活用する。**

### 【今年度の取組紹介】

春日中学校区地域教育協議会では、今年も様々な事業に取り組むことを計画しましたが、コロナ感染症対策のため、その多くが中止あるいは縮小となりました。多くのボランティアスタッフに支えられ、徹底した感染防止対策のもと、美化作業や放課後の学習支援にも取り組みました。また、「みんなの学習クラブ」を活用することでタブレット端末を活かした学習活動支援事業の充実につながりました。

また、今年は2度の開催となりましたが日本漢字能力検定も行われました。他にも多くの方たちのボランティア協力によって登下校の安全見守り活動などが行われました。そして、今年度のふれあい文化祭では、ギターマンドリン部と吹奏楽部の演奏がありました。また、リモートによる逢香ふれあいオンライン書道教室の体験も行われました。



【わかるわかる学習教室会】



【ふれあい文化祭】

### 【今年度のまとめ】

地域の方々の協力を得て、子どもたちが地域の方々と触れあったり地域の方々に見守られたりすることは、自分の住む地域やそこに暮らす人々を愛する心を育てる良い機会となりました。コロナ禍の影響は決して小さくありませんでしたが力を合わせ様々な事業を成し遂げられたと思われまます。登下校時の安全見守り活動で子どもたちと地域の方とが交わす笑顔に、「地域の子は地域で育てる」という意識があらわされていました。

### 【来年度に向けて】

地域と学校、園、家庭の連携をさらに強いものにしていくことが大切です。そのための地域人材の活用が求められています。特に地域で育った子が、大人になって地域に帰ってくる、地域の活動に参加する、そんなサイクルを作っていくことが求められています。

めざす子ども像

## **地域とのかかわりを大切にする子・自分を大切にする子・なかまを大切にする子・学習を大切にする子**

取組目標

地域の方との関りを通して、生徒自身が必要とされている存在であることを認識させ、自尊感情の高めることで、学習への意欲の向上と規範意識の育成につなげたい。

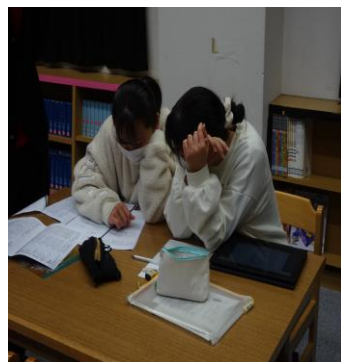
### 【今年度の取組紹介】

本年度も昨年度に引続き、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、キャリア教育としての「職場体験」などの各種体験学習については中止せざるを得ない状況となり、全ての取組を実施することはできませんでした。

しかし、本校が長年にわたって取り組んできている学習活動支援事業として学習意欲の向上と基礎学力の定着を図るための放課後学習会「わかるわかる学習会」には重点的に取り組みました。

「わかるわかる学習会」では、生徒の学習進度に応じて、基礎学力の定着や発展的な学習に取り組んでいました。生徒たちは、持参した問題集などを使って学習し、生徒一人一人に配付されたタブレットを使って学習に取り組んだりしていました。タブレットにデジタル教材「みんなの学習クラブ」を導入したことにより、小学校から中学校までの学習内容が容易に復習できるようになりました。

自分の自学自習を基本としますが、大学生を中心としたボランティアスタッフにアドバイスをもらいながら熱心に学習に取り組んでいました。



### 【今年度のまとめ】

学ぶ意欲のある生徒からの「勉強がわかるようになりたい」という思いを受けて始まった「わかるわかる学習会」も13年続いています。生徒たちは、ボランティアスタッフとともに学習に取り組み、「勉強がわかるようになった」と実感するとともに、自信が芽生え、学習意欲の向上につなげることができました。また、タブレットを使っての学習は、生徒たちが自分のペースで学習するのに有効な手段となりました。

### 【来年度に向けて】

今年度の取組への成果と課題をふまえ、来年度も「わかるわかる学習会」や今年度実施できなかった「各種体験学習」などの学習活動支援事業、「出前で部活」などの地域交流事業に引き続き取り組んでいきたいと考えています。

めざす子ども像 **地域とのかかわりを大切にする子・自分を大切に**

**にする子・なかまを大切ににする子・学習を大切にする子**

取組目標 済美の町と人、そして奈良の町と人と関わる体験活動を行うことで、  
地域に誇りを持つ取組を進めていく。

【今年度の取組紹介】 ☆世界遺産学習事業☆

全学年 御霊神社秋季例大祭お渡り式

3年ぶりに御霊神社のお渡り式が行われることとなり、平安時代の装束に身を包んだ人たちやお神輿の行列が済美小学校校区を練り歩きました。今年は宮司さんに協力をお願いして、運動場に入ってもらい全校で地域の伝統行事を見ることができました。このお渡り式を見るのが初めての子どもたちも多く、獅子舞やお神輿、平安時代の装束を間近で見られて大喜びしながらも、済美の町の歴史を感じることができました。



3年生「済美小学校と地域の昔のお話」「せいびの町を事故や事件から守る活動」

～地域の方をゲストティーチャーにお迎えして～

社会の学習として、済美小学校と地域の昔の様子や移り変わりについて京終駅の駅長さんご夫妻に来ていただき、お話を聞きました。明治時代の写真を見ながらこの数十年でのあまりの変わりように、子どもたちは驚きを隠せませんでした。



「安全見守り隊」の方にも来ていただいて「せいびの町を事故や事件から守る活動」についてもお話していただきました。どんな活動を、どのような思いで行っているのかを教えていただき、感謝と自分たちが住んでいる町を誇りに思う気持ちがさらに高まったようです。

【今年度のまとめ】

今年度は以前から取り組んできた活動を規模は若干縮小させながらではありますが行うことができました。新たな取組として、済美の町を誇りに思える体験や地域のために活動してくださっている人の話を聞いたことはとても有意義だったと考えます。

また、心を育む事業で芸術鑑賞会では伝統芸能「狂言」を見て体験し、生け花体験では自分たちで制作した花器に地域の方の指導を受けて花を生けるなど、地域の方とともに学び、喜びを共有できる活動ができました。

【来年度に向けて】

これからも、地域連携を大切にし、子ども達の心を豊かに育み、「済美・奈良を誇りに思う子ども」を育てる取組を進めていきたいと考えています。

めざす子ども像

**地域とのかかわりを大切にする子**  
**自分を大切にする子**  
**なかまを大切にする子**  
**学習を大切にする子**

取組目標

**大安寺っ子、地域で学び、つながろう****【今年度の取組紹介】**

1年生・3年生は敬老会の方と昔遊び体験やかきもち焼き体験、サツマイモ栽培収穫や八丁水菜を栽培収穫するなど、各学年の子どもたちが地域の方と一緒に活動することができました。活動する中で色々な交流があり、終わってから「昨日、帰り道で地域の人と会ったよ。」「あいさつできたよ。」など活動を通じて地域の方とつながりをもっていました。

野菜作りにおいても、地域の方は知識が豊富で教員では知らないことを多く教えていただき、教員にとっても実りのあるものでありました。



5年田植え体験



校内ペンキ塗り

**【今年度のまとめ】**

各学年一回は地域の方と会う体験を実施することができました。オンラインも良い点もありますが、やはり実際に体験することの大切さを感じた一年でありました。

今年度は、新型コロナウイルス感染対策が徐々に緩和されましたが、昨年と同様、行事が中止になったり、活動する内容もできるだけ少人数での作業・活動などで実施することもありました。しかし、敬老会との行事や地域の方との環境整備など3年ぶりに多くの方と関わることができました。

来年度も、感染症対策をしっかり行いながら、地域の方々と様々な行事



八丁水菜栽培・収穫

**【来年度に向けて】**

子どもたちにとって地域の方と様々な活動することは実りのあるものでありました。今後は、教員の働き方改革も考えながら取組を進めていきたいと考えています。

また活動に参加してくださる方々の高齢化・固定化が進んでおり、地域での新たな人材発掘という課題もあります。来年度も、今できることと、子どもたちにつけさせたい力を考えながら、実施していく必要があります。来年度も感染状況を見極め、地域の方の協力を得ながら大安寺小学校の子どもたちを育てていきたいです。

めざす子ども像 **地域とのかかわりを大切にする子/自分を大切に  
する子/なかまを大切にする子/学習を大切にする子**

取組目標 **地域とのふれ合いを通して、郷土愛やコミュニケーション力を育む。  
また、事業での関わりを通して、子どもと地域、学校と地域、地域同士のつながりを  
深めていく。**

**【今年度の取組紹介】**

今年度も昨年度に引き続き、6年生が卒業を目前に控えた3学期に地域の方々の協力を得て、校区内の環境美化活動を行うことができました。

自分たちが6年間毎日登校した通学路に落ちているごみを拾うことで、地域に愛着をより一層感じる機会と同時に地域の方々と一緒に作業することで地域の方々に見守っていただいていることを実感できるいい機会となっています。

1・2年生の生活科の学習で1年生はチューリップの球根、2年生はビオラの苗を一人一鉢で育てます。今年度は、地域の方々の協力を得て、チューリップの球根を植えたり、ビオラの苗を植えたりする活動のお手伝いをさせていただきました。

子どもたちは、ていねいに土をかぶせた後、水やりをして芽が出てくるのを心待ちにしていました。

**【環境整備・校区のごみ拾い】****【地域交流・花の苗植え】****【今年度のまとめ】**

コロナ禍で地域の方々と一緒に行える活動が制限されましたが、地域の多くの方々がこんな状況だからこそ子どもたちのために何かできることはないかと尽力してくださいました。学校と地域が協力して積み重ねてきた取組を今後も続けていきたいです。

**【来年度に向けて】**

地域の子どものための健全育成のため、コロナウイルス感染症予防対策をしながら今までの「チーム済南」の活動を続けていきたいです。今年度も6年生の卒業前の奉仕活動（校区のごみ拾い）を継続して行うことができました。自分たちが住んでいる地域をきれいにすることで地域への愛着を感じさせるいい機会となったので、次年度以降も定着できるようにしていきたいです。

## めざす子ども像

- ・ 地域とのかかわりを大切にする子
- ・ 自分を大切にする子
- ・ 仲間を大切にする子
- ・ 学習を大切にする子

## 取組目標

子ども達にとって地域とのつながりを意識できるふれあい活動事業を中心に、様々な経験や体験を通して地域とのつながりを強く感じられる取組を行う。

## 【今年度の取組紹介】

感染対策を行いながら、済美幼稚園ならではの取組を少しずつ戻すことができました。

◆まず、『ならまちたんけん』です。今年度も地域の方に安全指導・案内をしてもらい、音声館・庚申堂・からくりおもちゃ館や少し足を延ばし、元興寺・興福寺など、3回実施しました。子ども達は地域の方からその由来や言い伝えを聞き、興味を持って見ていました。

身近にある地域の良さを見たり聞いたり体験したりすることができました。また、保護者も一緒に参加する姿が見えています。今後も、子ども達にとって、地域の方々が身近に感じ取れるものにしていきたいです。

◆次に『新年を祝うお茶会』です。日本の伝統文化に触れる体験です。地域の方々がフルートと琴の生演奏を聴かせてくれます。続いて地域のお茶の先生に作法を見せてもらったり、お茶の点て方を学んだりしています。その後子ども達はお茶を点てて味わいます。また今年は自由参観とし保護者の方に見ていただきました。保護者の方と一緒にお茶の心にふれ、いつもとは違う雰囲気を感じる事ができました。



## 【今年度のまとめ】

コロナ禍でも地域の方との関わりを少しずつ戻しながら、子ども達にとって地域とのつながりを意識できる活動（「ならまちたんけん」・「新年を祝うお茶会」・「親子花苗植え」・「絵本の読み聞かせ」・「子育て支援」・「ダンス・サッカークラブ」・「押し花教室」等）を地域の方にご支援いただきました。たくさんの方々との関わりを通して、子ども達に豊かな心が育ってきています。また、友だちと一緒に自分たちで遊びや生活を進めていこうとする気持ちを持てるようになってきました。保護者からは、「ならまちたんけんやお茶会など、親が教えられないことを地域の方から学んで貴重な体験をさせてもらっている」「これからも続けてほしい」という意見が多く聞かれます。子ども達は、さまざまな経験から、思いやりの心・挑戦する心を持てるようになってきていると感じています。

## 【来年度に向けて】

地域の方々から多くのことを学び、引き続き幼稚園が地域の子育て支援の拠点となるよう、感染症対策を行いながら、取組の精選を含めて、連携をさらに深めていきたいと考えています。

めざす子ども像

**○地域とのかかわりを大切にする子****○自分を大切にする子****○なかまを大切にする子****○学習を大切にする子**

取組目標

家庭・地域・幼稚園が一緒になって事業に取り組む中で、子どもの現状を知り、共に子育てをする。

## 【今年度の取組紹介】

地域交流事業として、PTA さんとの共催で「幼稚園まつり」を行いました。5歳児は自分達でつくった神輿を担ぎ、4歳児は鳴子をならしながら園庭をまわりました。地域の方には和太鼓をたたいてもらったりうちわを振ってもらったりして、盛り上げていただきました。その後、PTA さんが準備してくださったコーナー遊びや、地域の方とじゃんけんをしてシールを3枚集めるとお菓子をもらえる遊びを楽しみました。子ども一人一人が地域の方と自然と関わることができ楽しいまつりになりました。



地域体験事業として、農業委員さんにお世話していただき大安寺の畑にジャガイモやサツマイモの苗を植え、親子で収穫する体験をさせていただきました。園内でも菜園活動はしていますが、大きな畑での栽培は初めてで、時々畑に苗の生長を観察しに行ったりしながら、収穫の日をととても楽しみにしていました。ジャガイモもサツマイモもとても大きく、量も沢山収穫することができ大喜びでした。持ち帰った野菜は各家庭で調理していただき、翌日には「おいしかった～」と報告してくれました。地域の方や保護者と共に菜園活動に取り組むことで地域の方の優しさを感じながら食への関心が深まりました。



## 【今年度のまとめ】

お茶会では、「お茶に関わってくれている多くの人に感謝の気持ちをもって、お茶をたてること」や、「優しい気持ちでお茶を点てること」など、普段の生活の中でも大切なことを教えて頂きました。英語遊びでは、英語で歌ったりゲームをしたりしながら楽しく英語に親しみ、心が通い合うふれあいの時間をもつことができました。キッズサッカーでは、サッカーだけではなく、様々な運動遊びを通して体を動かす楽しさを感じ、心身共に逞しさが見られるようになりました。また今年から新たに「運動遊び」「人形劇」を取り入れ、子ども達の経験の幅が広がりました。コロナ禍であり、地域の人との交流は活発にできませんでしたが、少ない機会を大事にしながら触れ合うことで地域の方々を身近に感じ親しみをもつことができたのではないかと思います。また、読書活動や栽培活動など1年を通して保護者に多く関わってもらうことで、親子でふれあう機会が増え関心を深めてもらうことができました。このような活動を通して子ども達の優しさや温かさなど様々な感情を豊かに育てることができたと思います。

## 【来年度に向けて】

地域交流については、感染症対策をしながら事業内容を工夫し実践できるようにしたいと考えています。子ども達には地域の方の温かさや気持ちのつながりを感じてほしいと思っています。